

市町村名	渡嘉敷村
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 慶良間海域サンゴ保全活動	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3(12)ア
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度 平成25年度	観光リゾート産業の振興
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 1 - (1)

事業内容	慶良間海域のサンゴを保全しながら、持続的に利用するための対策を講じるため、座間味村と共同でサンゴ保全活動計画、及びその運用ルールを策定する。				
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	2,215			
(b)予算現額	2,334					
(c)増減額(b-a)	119					
(d)繰越額	0		2,334			
A.計(b+d)	2,334		2,334			
B.執行済額	0		2,124			
うち交付金充当額	0		1,699			
次年度繰越額	2,334		0			
執行率(%) (B/A)	0.0%		91.0%			
予算の状況の説明	ルールブックが当初予定していたページ数に満たなくなり、冊子形式から表裏1枚のチラシに変更して印刷となったため減額となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定	目標	(実施)	()	()	()
	実績	実施			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	渡嘉敷村と座間味村が共同して、慶良間海域を利用するダイビング事業者が守るべき利用ルールやサンゴ保全活動計画、及びその運用のありかたを定めるため、平成25年度に「慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルール等策定業務」委託契約したが、ダイビング事業者の意見調整に時間を要し平成26年度に繰り越して実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
			慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルールの策定	目標	()	(実施)
	実績		実施			
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	座間味村と共同で、慶良間海域を利用するダイビング事業者が守るべき利用ルールやサンゴ保全活動計画、及びその運用のありかたについて、ダイビング関係者の代表者によるワークショップ形式で意見交換を行った。その過程で様々な課題が浮かび上がり、意見調整には不測の時間を要したが、平成26年11月に委託業務完了し、ルールやその運用のあり方について一定の成果を得ることができた。					

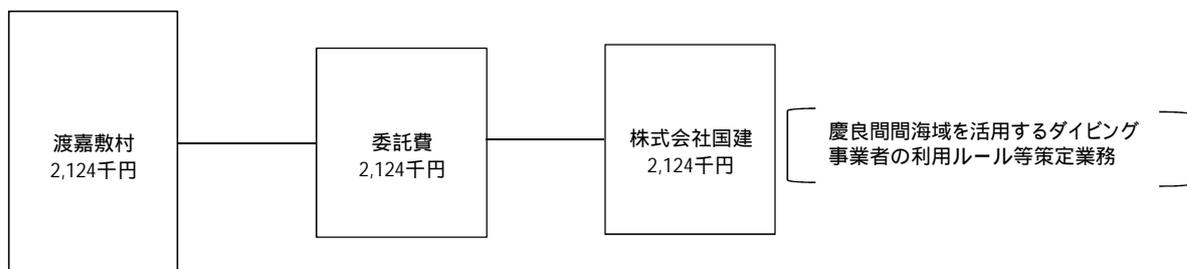
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	慶良間諸島を構成する本村と座間味村では、平成24年6月27日にエコツーリズム推進法に則った「慶良間地域エコツーリズム推進全体構想」の認定を受け、今後本格的な運用を始めるに当たり、サンゴを保全しながら持続的に利用するためのルール作りが求められているが、ダイビング事業者の経営形態も様々で、ルールや保全活動を推進するための運用体制については最終合意に至っていない。	ダイビング関係事業者の意見調整にはなお時間をかけて取り組む必要があるが、問題点を明確にし、効率よく話し合いを進めていく必要がある。

今後の取り組み方針

ダイビング事業者が利用ルールに則り事業を行うことは、自らに課題を科すことであり合意形成は容易ではないと思われる。しかし、サンゴへの負荷を軽減したり再生する取り組みを行うことは将来への投資と考え、持続的に事業を行う上で取り組むべき課題と認識することが重要であり、合意形成に向けては更なる意見交換の場を設けて取り組む必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
2,124	2,124	1,699	425	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者選定は、同様の業務実績のある3社から見積もりを徴し随意契約により実施しており、競争性は担保され妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については当初より95,400円であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	渡嘉敷村高齢者生活福祉センター施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(3)-ア	
担当部課名	渡嘉敷村役場 民生課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	健康福祉セーフティネットの充実 -4		
事業内容	現在の福祉施設は居室がないため、要介護状態の高齢者を受け入れることが困難である。安心安全な受け入れ体制を整えるため、渡嘉敷村高齢者生活福祉センター内部を改修し、居宅介護に対応できる施設整備を行う。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	31,416	-			
		(b)予算現額	93,355	-			
		(c)増減額(b-a)	61,939	-			
		(d)前年度繰越額	0	46,116			
	A.計(b+d)		93,355	46,116			
	B.執行済額		33,621	46,116			
	うち交付金充当額		26,896	36,892			
	次年度繰越額		59,734	0			
	執行率(%) (B/A)		36.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初予算においては、居室部分の改修としていたが、老朽化に伴い改修箇所(外壁、非常用照明機器、風呂場、玄関周辺等)が増えたため、補正にて増額措置した。25年度は設計委託料と工事請負費の前払い金の支出となり、残りについては26年度への繰り越し事業となる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	施設設計	目標	(施設設計)	()	()	()	
		実績	施設設計完了				
	施設工事	目標	(施設工事)	(施設工事)	()	()	
		実績	未完了	完了			
達成状況説明	施設設計については、年度内完了。施設改修工事については、年度内完了できなかったため、H26年度へ繰越事業となり、H26年7月末の工事完了を予定。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	渡嘉敷村高齢者生活福祉センター施設整備完了	目標	()	(完了)	(完了)	()	()
		実績		未完成	完了		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	年度内に改修工事が完成できなかったため、生活支援ハウスの再稼働は未実施。H26年7月末改修工事完成予定のため、再稼働をH26年9月再稼働を予定。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	改修工事完成後は、居住部門への利用促進を図っていく。	生活支援ハウスの再稼働についての周知を図る。

今後の取り組み方針

平成26年9月供用開始予定。生活支援ハウス再稼働により、島で永く生活できる環境と整える。家族介護支援の充実を図り、短期入所等の活用を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金	
79,737	79,737	63,789	15,948	



資金の流れ、費目、用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	発注先(設計委託及び現場管理業務、工事請負業者)の選定については、入札により選定しており、妥当と考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については、工事請負業務の入札で、落札価格が予定価格を8,651千円下回ったが、執行については適正であった。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者負担については、居宅介護での入居者は規定により利用料を納付している。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目、用途については、目的に即し真に必要なものとして適正であるか、書類等で確認をしている。